

# 第 1 学 年

令和 8 年度入学生（ 第 5 7 回生 ）

# 令和8年度入学生(第57回生)教育課程

教育内容	該当科目		単位数	時間数	第1学年		第2学年		第3学年	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期
<b>基礎分野</b>					<b>10</b>	<b>165</b>				
科学的思考の基盤・人間と生活	自然科学・人文科学・社会学	化学	1	15	●					
		生物学の基礎	1	15	●					
		数学統計の基礎	1	15			●			
		倫理学	1	15			●			
		情報科学	1	20	●					
	外国語	実践英語 I	1	15	●					
		実践英語 II	1	15			●			
		歯科英語	1	15			●			
	コミュニケーション学	行動科学	1	20						●
	心理学	1	20		●					
<b>専門基礎分野</b>					<b>22</b>	<b>355</b>				
人体の構造と機能	人体構造学	解剖学	2	30	●					
		組織・発生学	1	20		●				
	人体機能学(生理学)	1	20		●					
歯・口腔の構造と機能	生体物質・口腔の化学(生化学)		2	30	●	●				
	口腔構造学	口腔解剖学	2	30	●	●				
		歯牙解剖	1	20	●					
疾病の成り立ちと回復過程の促進	病理学・口腔病理学		2	30		●				
	薬理学・歯科薬理学		2	30		●				
	微生物学・口腔微生物学		2	30		●				
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学	口腔衛生	1	20	●					
		公衆歯科衛生・歯科衛生統計	2	30		●				
	衛生学・公衆衛生学		1	20	●					
	カリオロジー学		1	15					●	
衛生行政・社会福祉		2	30			●				
<b>専門分野</b>					<b>59</b>	<b>2125</b>				
歯科衛生士概論	歯科衛生士概論		2	30	●	●				
臨床歯科医学	歯・歯髄疾患論	保存修復学	1	20		●				
		歯内療法学	1	20			●			
	歯周疾患論	歯周療法学 I	1	20			●			
		歯周療法学 II	1	15					●	
	咀嚼障害・咬合異常論	歯科補綴学	1	20			●			
		歯科矯正学	1	15			●			
	顎口腔疾患論	口腔外科学	1	15			●			
		全身管理学	1	15			●			
	小児歯科学		1	20			●			
障がい者・高齢者歯科学		1	20			●				
予防処置論	口腔疾患予防処置法	I	4	160	●	●				
		II	2	80			●	●		
		III	2	80					●	●
歯科保健指導論	口腔保健学	保健指導法 I (含 栄養指導)	3	120	●	●				
		保健指導法 II	2	80			●	●		
		保健指導法 III (含 関連医学)	2	80					●	●
		歯科衛生ケアプロセス	1	15			●			
歯科診療補助論	口腔診療補助法	I	3	120	●	●				
		II (含 歯科材料、歯科放射線学、介護技術)	3	120			●	●		
		III (含看護学)	2	80					●	●
		感染予防学	1	15			●			
		医学一般・臨床検査法	1	20			●	●		
臨地・臨床実習	臨地・臨床実習 I		2	90	●	●				
	臨地・臨床実習 II		8	360			●	●		
	臨地・臨床実習 III		11	495					●	●
<b>必修隣接分野</b>					<b>12</b>	<b>239</b>				
総合科目(健康と教養)	看護学		1	15		●				
	口腔リハビリテーション I		1	15				●		
	口腔リハビリテーション II		2	30					●	●
	病院管理学(社会保険・請求事務、歯科マネジメント)		1	15						●
	総合歯学		5	104						●
研究	国際コミュニケーション		1	30			●			
	研究		1	30			●	●		
総計			103	2884	434	516	525	475	610	324
					950		1000		934	

## 基礎分野

化学	004
生物学の基礎	005
情報科学	007
実践英語 I	009
コミュニケーション学～心理学～	012

## 専門基礎分野

解剖学	014
組織・発生学	016
人体機能学（生理学）	018
生体物質・口腔の化学（生化学）	021
口腔解剖学	024
歯牙解剖	026
病理学・口腔病理学	028
薬理学・歯科薬理学	030
微生物学・口腔微生物学	033
口腔衛生	035
公衆歯科衛生・歯科衛生統計	037
衛生学・公衆衛生学	039

## 専門分野

歯科衛生士概論	041
保存修復学	043
口腔疾患予防処置法 I ・保健指導法 I （含栄養指導）・歯科診療補助法 I	045

## 必修隣接分野

看護学	058
-----	-----

# 化学

担 当 者	黒石 智誠 東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 口腔微生物・口腔免疫学分野 講師		
単 位	時間数	履修時期	
1	15	1年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「化学」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	必要に応じて紹介する。		
学習目標	様々な専門科目を学習する上での基礎となる「化学」を修得する。 中学～高校で学習した「化学」の総復習。		
学習方略	スライドを中心に講義し、必要に応じて資料を配付する。 随時、小テストを行い、理解度を確認する。		
学習評価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>原子、分子</u>	黒石 智誠	プロジェクター
2	<u>原子量、分子量、物質質量 (モル)</u>	黒石 智誠	プロジェクター
3	<u>原子の電子配置、イオン、化学結合</u>	黒石 智誠	プロジェクター
4	<u>水溶液、親水性、疎水性、コロイド</u>	黒石 智誠	プロジェクター
5	<u>溶液の濃度</u>	黒石 智誠	プロジェクター
6	<u>酸、アルカリ</u>	黒石 智誠	プロジェクター
7	<u>酸化、還元、金属のイオン化傾向</u>	黒石 智誠	プロジェクター
8	<u>有機化合物</u>	黒石 智誠	プロジェクター
	<u>試験</u>	黒石 智誠	

# 生物学の基礎

担 当 者	村上 天悠 東北大学大学院生命科学研究科 生態発生適応科学専攻 個体ダイナミクス講座 動物発生分野 大学院生	
単 位	時間数	履修時期
1	15	1年前期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「生物学」 (医歯薬出版)	
参 考 図 書	和田勝 著：「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」	
学習目標	生物学の基礎知識を習得するとともに、科学的思考を身につける。	
学習方略	資料を配付し、スライドショーを用いて解説を行う。	
学習評価	筆記試験を実施し、講義内容の理解度を問う。	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>講義：「生命」とは何か</u>	村上 天悠	配付資料 プロジェクター
2	<u>講義：生命の構造① 細胞</u>	村上 天悠	配付資料 プロジェクター
3	<u>講義：生命の構造② 細胞から個体へ</u>	村上 天悠	配付資料 プロジェクター
4	<u>講義：生命の連続① 生殖、遺伝</u>	村上 天悠	配付資料 プロジェクター
5	<u>講義：生命の連続② 発生</u>	村上 天悠	配付資料 プロジェクター
6	<u>講義：生命の活動① 刺激の受容・伝達</u>	村上 天悠	配付資料 プロジェクター
7	<u>講義：生命の活動② 刺激への応答</u>	村上 天悠	配付資料 プロジェクター

	<u>試験</u>	村上 天悠	
8	<u>試験解説</u>	村上 天悠	配付資料 プロジェクター

# 情報科学

担 当 者	萩原 潤 宮城大学 看護学群 兼 基盤教育群 准教授		
単 位	時間数	履修時期	
1	20	1年前期	
教 科 書	必要に応じて資料を配付する		
参 考 図 書	門脇香奈子 著:「今すぐ使えるかんたんぜったいできます! ワード&エクセル超入門」(技術評論社)		
学 習 目 標	<p>本講義は日常生活・学生生活において PC や、ネットワークを利用する上で必要なリテラシーを学習する。PC を使って情報を活用し、わかりやすく伝える方法を学ぶ。レポート作成やプレゼン演習を通して今後の学生生活に必要な PC スキルの上達を目指す。具体的な内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) キーボードの操作に慣れ、文字を的確に入力できる。</li> <li>2) ワードを活用して、レポートの作文技能を習得し、図や表が入った文章を作成できる。</li> <li>3) エクセルで表を作成し、簡単な数式を設定して、結果をグラフ化できる。</li> <li>4) インターネットを活用し必要な情報を収集できる。</li> <li>5) パワーポイントを用いて自らの考えを効果的に表現できる。</li> </ol>		
学 習 方 略	PC を使用した演習を中心とする		
学 習 評 価	講義中に指定する課題と演習への取り組みの態度により総合的に評価する		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>PCの基本操作</u> ウィンドウズの基本操作について学ぶ。 <u>タイプ練習</u> タッチタイプ練習により、キーボード入力に慣れる。	萩原 潤	PC
2	<u>ワード基礎</u> ワードの基本操作を学び、簡単な文書を作成する。	萩原 潤	PC
3	<u>ワード応用</u> コピーや貼り付け、文字の装飾などワードの機能を用いて文書を作成する。	萩原 潤	PC

4	<u>エクセルの基礎</u> データ入力、式の作成、簡単なグラフ作成を通してエクセルの基本操作を学ぶ。	萩原 潤	PC
5	<u>エクセルの応用</u> 関数を利用したデータの集計を行う。 データの種類に合った見やすいグラフを作成する。	萩原 潤	PC
6	<u>エクセルの演習</u> エクセルの機能を用いて、実際に作業を行い、操作方法を身につける。	萩原 潤	PC
7	<u>パワーポイント</u> 図やアニメーションを入れた、見やすいスライドを作成する。	萩原 潤	PC
8	<u>情報リテラシー・ワード演習</u> コンピュータやネットワークを利用するにあたって必要なルールやマナー、そしてセキュリティに関する講義を行う。 インターネットの検索機能とワードの機能を用いて演習課題に取り組む。	萩原 潤	PC
9	<u>パワーポイント演習</u> これまで得た技術を用いてパワーポイントを用いた演習課題に取り組む。	萩原 潤	PC
10	<u>プレゼンテーション演習</u> 前回の演習課題をもとにプレゼンテーションの演習を行う。他者の発表を聞くことで、自身の発表時に必要なことを考える機会とする。	萩原 潤	PC
	<u>試験・レポート</u>	萩原 潤	

# 実践英語 I

担 当 者	Marie-J. Brassard		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
1	1 5	1 年 前 期	
教 科 書	Material based on Text		
参 考 図 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯科英語」 (医歯薬出版)		
学 習 目 標	English subject Dental English, conversation, and structures		
学 習 方 略	Lectures, hearing, written and oral practice		
学 習 評 価	Exam 100% Oral presentation : self-introduction 1~2 m speech		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<p>U.1 <u>Going Abroad: Making a Speech</u></p> <p>Grammar points</p> <p>1. The order of sentences</p> <p>2. 'Wh' questions</p> <p><u>Dialogue practice</u>: vocabulary, structures and</p> <p>Speech making examples</p> <p>Basics of Speech Writing: Introduction, body and conclusion</p> <p><u>Hearing comprehension text</u>: Example of speech</p> <p>Vocabulary &amp; pronunciation. Questions</p>	Marie-J. Brassard	
2	<p>U.2 Dialog. 1 <u>Making an Appointment</u></p> <p>Vocabulary Building</p>	Marie-J. Brassard	

	<p>G Pt1. Verb to Be – Q &amp; A</p> <p>G Pt2. Present tense:</p> <p>Expressing habit, used with</p> <p>Time expressions-Writing exercises</p> <p>Oral practice, pronunciation practice</p> <p>Dialog. 2 <b><u>At the Dentist's Office</u></b></p> <p>Vocabulary building</p> <p>Oral practice and pronunciation practice</p> <p>Reading/Hearing comprehension:</p> <p>Prevention is the Best Cure</p>		
<b>3</b>	<p>U.3 Dialogue 1 <b><u>Needing Treatments for a Root Canal</u></b></p> <p>Vocabulary building</p> <p>G Pt1: Will: indicating future Q&amp;A</p> <p>G Pt2: When conjunction</p> <p>Writing exercises</p> <p>Dialogue 2 <b><u>Checking up on a Patient</u></b></p> <p>New vocabulary</p> <p>Oral practice, and making new dialogues</p> <p>Reading/Hearing comprehension +Q&amp;A</p>	<b>Marie-J. Brassard</b>	
<b>4</b>	<p>U.4 Dialogue 1 <b><u>Request for Medicine</u></b></p> <p>New vocabulary</p> <p>G Pt1: Be + going to + inf. verb/Q&amp;A</p> <p>Writing ex. Oral practice and pronunciation</p> <p>Dialogue 2 <b><u>A Conversation with the Dental Hygienist</u></b></p> <p>New vocabulary</p> <p>G Pt2: Have + p.p. V had + pp structures</p> <p>Writing ex, oral practice</p> <p>Reading/Hearing comprehension Q&amp;A</p>	<b>Marie-J. Brassard</b>	

5	<u>Writing a speech draft:</u>  Writing an outline. What do you want to say?  Introducing your topic, developing ideas  And concluding your speech	Marie-J. Brassard	
6	U.5 Dialogue 1 <u>Describing Symptoms</u>  New vocabulary  G Pt1: Verb + adjective / location  Writing exercises and oral practice  Dialogue 2 <u>The Diagnosis</u>  New vocabulary  Making new dialogues oral practice and pronunciation  Reading/hearing comprehension + Q&A	Marie-J. Brassard	
7	<u>Pronunciation practice: consonants and vowels</u>  Listening Challenge 1 & 2  <u>Practicing your speech:</u> stance, gestures, voice, eye contact  Practicing your speech in small groups plus  Group evaluations for improvement	Marie-J. Brassard	
8	<u>Speech presentation in class</u>	Marie-J. Brassard	
	<u>Exam 100%</u>	Marie-J. Brassard	

## コミュニケーション学～心理学～

担 当 者	粟木 一博 仙台大学 教授		
単 位	時間数	履修時期	
1	20	1年後期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「心理学」 (医歯薬出版) その必要に応じて資料を配付する。		
参 考 図 書	参考になる書籍、文献等は講義中に紹介する。		
学 習 目 標	授業で紹介される、いろいろな種類の人の行動について、どのような法則性があるのかについて理解を深めるとともに、それを基礎として、自分自身をはじめ、周りにいる人々の行動について、さらに自分と周りの人々との関係について客観的分析的に考える態度を身につける。		
学 習 方 略	上記の目標を達成するために具体的な事例を紹介する。それらを自分自身の体験と照らし合わせながら学習する。		
学 習 評 価	授業内に実施される小レポートをはじめ、質問、発表など授業に対する積極的な取り組みを高く評価する。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>心理学とは</u> ・ 心理学の歴史と現代の心理学 ・ 心理学の研究法	粟木 一博	プロジェクター
2	<u>感覚と知覚</u> ・ 感覚、視覚、聴覚 ・ 注意の心理学	粟木 一博	プロジェクター
3	<u>学習</u> ・ 生得的な行動と単純な学習性の行動 ・ 様々な学習	粟木 一博	プロジェクター
4	<u>認知(1)</u> ・ 記憶のシステムと働き ・ 言語と思考	粟木 一博	プロジェクター
5	<u>認知(2)</u> ・ 認知と注意 ・ 日常生活の中の認知	粟木 一博	プロジェクター

6	<u>感情</u> ・感情心理学の理論 ・感情と身体・社会	栗木 一博	プロジェクター
7	<u>動機づけとは（１）</u> ・動機づけの仕組み ・社会的動機づけ	栗木 一博	プロジェクター
8	<u>動機づけとは（２）</u> ・「認知」「欲求」「情動」と動機づけ ・内発的動機づけと外発的動機づけ	栗木 一博	プロジェクター
9	<u>発達</u> ・認知・思考の発達 ・対人関係・社会性の発達	栗木 一博	プロジェクター
10	<u>パーソナリティー</u> ・パーソナリティーの様々なとらえ方 ・パーソナリティーの測定	栗木 一博	プロジェクター
	<u>レポート課題</u>	栗木 一博	

# 解剖学

担 当 者	畠山 雄次 東北大学大学院歯学研究科 リハビリテーション歯学講座 口腔器官解剖学分野 教授		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
2	30	1年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会：歯科衛生学シリーズ 「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」（医歯薬出版）		
参 考 図 書	全国歯科衛生士教育協議会：歯科衛生学シリーズ 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 （医歯薬出版）		
学 習 目 標	人体全身の肉眼構造（系統解剖学）の概要を理解し、歯科衛生士として必要な基本的解剖学的知識を修得する。		
学 習 方 略	講義（スライド、プリント）および小テスト		
学 習 評 価	筆記試験（中間試験、定期試験） 講義態度および出席状況が著しく不良の場合、筆記試験を評価しない場合がある。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>解剖学総論</u> 解剖学の意義、解剖学概説	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
2	<u>消化器系 I</u> 内臓概説、口腔、舌、唾液腺	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
3	<u>消化器系 II</u> 咽頭、食道、胃、小腸、大腸	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
4	<u>消化器系 III</u> 肝臓、膵臓 <u>呼吸器系</u> 気道、肺	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
5	<u>泌尿生殖器系</u> (中間試験)	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント

6	<u>骨格系 I</u> 骨学概説、骨の連結（関節学）、頭蓋骨概説	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
7	<u>骨格系 II</u> 体幹の骨、上肢の骨、下肢の骨	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
8	<u>筋系</u> 筋学概説、頭頸部の筋概説、体幹の筋、体肢の筋	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
9	<u>脈管系 I</u> 脈管学概説、心臓	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
10	<u>脈管系 II</u> 動脈系、静脈系、胎児循環、リンパ系	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
11	<u>神経系 I</u> 神経学概説、中枢神経（脳、脊髄）	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
12	<u>神経系 II</u> 末梢神経（脳神経、脊髄神経）	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
13	<u>神経系 III</u> 自律神経 (中間試験)	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
14	<u>内分泌系</u> <u>感覚器系 I</u> 皮膚、目	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
15	<u>感覚器系 II</u> 耳、鼻（嗅上皮）、舌（味覚）	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
	<u>試験</u>	畠山 雄次	

## 組織・発生学

担 当 者	細矢 明宏 東北大学大学院歯学研究科 リハビリテーション歯学講座 顎口腔組織発生学分野 教授	
単 位	時 間 数	履 修 時 期
1	20	1年後期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」、歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と 機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」（医歯薬出版）	
参 考 図 書		
学 習 目 標	歯科臨床の基礎を理解するために、口腔を含む人体諸器官の組織構造を習得する。また、個体発生の仕組みと人体諸器官の発生に関する知識を習得する。	
学 習 方 略	講義	
学 習 評 価	講義終了後に試験を行い、出席状況、毎回実施する小テストから総合的に評価する。	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>細胞</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
2	<u>上皮組織</u> <u>支持組織</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
3	<u>筋組織</u> <u>神経組織</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
4	<u>個体発生</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
5	<u>顔面と口腔の発生</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
6	<u>歯と歯周組織の発生</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
7	<u>エナメル質</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター

8	<u>象牙質・歯髄複合体</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
9	<u>セメント質</u> <u>歯根膜</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
10	<u>歯槽骨</u> <u>歯肉</u> <u>口腔粘膜</u>	細矢 明宏	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	細矢 明宏	

## 人体機能学（生理学）

担 当 者	安藤 恵子 東北大学大学院歯学研究科 病態マネジメント歯学講座 口腔生理学分野 准教授	
単 位	時 間 数	履 修 時 期
1	20	1年後期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」、歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」（医歯薬出版）	
参 考 図 書	岩田幸一・井上富雄・舩橋誠・加藤隆史 編：「基礎歯科生理学7版」（医歯薬出版）	
学 習 目 標	人体の機能（しくみ）の基礎的事項を学び、理解する。さらに、歯科衛生士として必要な歯および口腔の機能に関する知識を修得する。	
学 習 方 略	講義（スライドやプリント配付）	
学 習 評 価	筆記試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>「解剖学で学ぶこと・生理学で学ぶこと」</u> 生理学とは <u>「細胞と組織」</u> 細胞の構造、細胞内小器官と基本的機能	安藤 恵子	プロジェクター
2	<u>「循環」</u> 体液・血液 体液の種類、量、調節、血液成分、血液の機能 血液凝固系と線溶系、血液型と輸血 心臓 体循環・肺循環、心臓の構造とはたらき、心拍、刺激伝導系、活動電位、心電図、循環中枢 血管の機能 種類、血圧、圧受容、血液量と血圧調節、リンパ循環、循環ショック	安藤 恵子	プロジェクター
3	<u>「呼吸」</u> 呼吸器の構成、胸郭の構造と換気の仕組み、肺気量と換気量、ガス交換、O <sub>2</sub> とCO <sub>2</sub> の運搬、呼吸調節、呼吸中枢、酸塩基平衡	安藤 恵子	プロジェクター

4	<p><u>「消化・吸収」</u> 消化管の構造、消化と吸収のしくみ、口腔、食道、胃の機能、小腸・大腸の機能、消化管運動、消化管ホルモン</p>	安藤 恵子	プロジェクター
5	<p><u>「神経系」</u> 神経系の概要 神経系の構成 細胞の種類とはたらき、構造、神経系の機能(静止膜電位、電気緊張性電位、活動電位、伝導、伝達)</p> <p><u>「中枢神経系」</u> 大脳～脊髄の働き、高次機能、脳波 脳脊髄膜・脳脊髄液の構造とはたらき</p> <p><u>「末梢神経系」</u> 体性神経系、自律神経系の構造と機能</p>	安藤 恵子	プロジェクター
6	<p><u>「筋と運動」</u> 筋(骨格筋、心筋 平滑筋)の構造と機能・収縮様式 筋紡錘の働き、運動ニューロン、反射と随意運動、姿勢調節、筋電図</p> <p><u>「感覚」</u> 感覚の基本的性質、特殊感覚器(視覚・聴覚・平衡感覚)の構造と機能、体性・内臓感覚、痛覚</p>	安藤 恵子	プロジェクター
7	<p><u>「排泄」</u> 排便、排尿、皮膚からの発汗 尿の性状、腎臓の構造と尿生成のしくみ、酸塩基平衡</p> <p><u>「体温」</u> 熱の産生・放散、体温調節中枢、体温調節</p>	安藤 恵子	プロジェクター
8	<p><u>「内分泌」</u> 内分泌器官の構造、下垂体、視床下部、膵臓、副腎、性腺、その他のホルモン、恒常性の維持、ホルモン調節 血中カルシウム濃度の調節、歯とホルモン</p> <p><u>「生殖」</u> 性周期とホルモン、分娩と乳汁分泌</p>	安藤 恵子	プロジェクター
9	<p><u>「歯と口腔の感覚」</u> 歯の感覚、歯根膜感覚、歯髄感覚、口腔粘膜の感覚</p> <p><u>「味覚と嗅覚」</u> 味物質、基本味、味覚の役割、神経機構、味覚障害 嗅覚の役割、特性、神経機構</p>	安藤 恵子	プロジェクター

10	<p><u>「咬合と咀嚼・吸啜」</u>  下顎位、下顎の運動、反射、摂食行動、咀嚼能力、吸啜</p> <p><u>「発声・嚥下・嘔吐」</u>  言語野、声の生成、構音障害、口腔の病態と発音  嚥下の概要、食塊の動き、嚥下の神経機構  嘔吐の誘発機序、嘔吐の神経機構</p> <p><u>「唾液」</u>  唾液腺、唾液の分泌調節、唾液の作用  唾液の性状・成分、唾液と疾患</p>	安藤 恵子	プロジェクター
	<u>試験</u>	安藤 恵子	

## 生体物質・口腔の化学（生化学）

担 当 者	高橋 信博 東北大学大学院歯学研究科 特任教授 東北大学 総長特別補佐 土門 ひと美 東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 口腔生化学分野 非常勤講師 佐々木 裕子 仙台白百合大学 人間科学部 健康栄養学科 教授	
単 位	時間数	履修時期
2	30	1年前期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能2 口腔生化学」「人体の構造と機能3 栄養学」「歯科予防処置論・歯科保健指 導論 第2版」（医歯薬出版）	
参 考 図 書	菊地吾郎、他 編：「一般医化学」（南山堂） 早川太郎、他 編：「口腔生化学」（医歯薬出版） 織田正豊、他 編：「歯科用語小辞典」（クインテッセンス）	
学習目標	歯科衛生士として、患者に口腔衛生指導・栄養管理指導する上で必要な生化学的知識、並びに齲蝕・歯周病等の病因・予防を理解するための基礎として必要な口腔生化学的知識を身につける。	
学習方略	講義および復習	
学習評価	出席および試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>栄養と代謝－生化学で学ぶこと・栄養学で学ぶこと－</u> イントロダクション、生化学と栄養学、歯科衛生士が 生化学・栄養学を学ぶ意義	高橋 信博	プロジェクター
2	<u>生体の構成要素1</u> 細胞の役割、生体における水	土門 ひと美	プロジェクター
3	<u>生体の構成要素2</u> 生体構成成分と栄養素：糖質、脂質、タンパク質、 ミネラル、ビタミン	土門 ひと美	プロジェクター

4	<u>生体における化学反応</u> 消化と吸収、酸素の運搬と二酸化炭素の排出、酵素	高橋 信博	プロジェクター
5	<u>糖質の代謝</u> エネルギー代謝の全体像、解糖、グリコーゲンの合成と分解、クエン酸回路、電子伝達系、糖質の代謝によって得られるエネルギー量	高橋 信博	プロジェクター
6	<u>脂質の代謝</u> $\beta$ 酸化、脂肪の合成、脂質の代謝によって得られるエネルギー量	高橋 信博	プロジェクター
7	<u>タンパク質とアミノ酸の代謝</u> タンパク質の加水分解、アミノ酸の代謝分解、タンパク質の合成	土門 ひと美	プロジェクター
8	<u>生体における恒常性の維持</u> 恒常性（ホメオスタシス）、ホルモンと自律神経系	土門 ひと美	プロジェクター
9	<u>歯と歯周組織の生化学</u> 結合組織（コラーゲン、プロテオグリカンなど）、歯（組成、無機成分、有機成分など）	土門 ひと美	プロジェクター
10	<u>硬組織の生化学</u> 血清中のカルシウムとリン酸、石灰化の仕組み、骨の生成と吸収、歯の脱灰と再石灰化	土門 ひと美	プロジェクター
11	<u>プラークと唾液の生化学</u> プラークの生物活性（齲蝕発症機構・歯周疾患発症機構・口臭発症機構）、唾液（無機質、有機質など）	土門 ひと美	プロジェクター
12	<u>健康と栄養</u> 日本人の食事摂取基準・食生活指針 特定保健用食品・特別用途食品、食事バランスガイド	佐々木 裕子	プロジェクター
13	<u>ライフステージごとの食生活指導</u> 妊娠期、乳幼児期、幼児期、学童期、成人期 高齢期の食生活指導のポイント	佐々木 裕子	プロジェクター
14	<u>病態に関わる食事と食品</u> やせと肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症、慢性腎臓病などの生活習慣と口腔機能の関連	佐々木 裕子	プロジェクター

15	<u>栄養ケア・マネジメント</u> 栄養アセスメント、栄養ケア計画 咀嚼・嚥下機能に関するモニタリングと栄養評価	佐々木 裕子	プロジェクター
	<u>試験</u>	高橋 信博	

## 口腔解剖学

担 当 者	畠山 雄次 東北大学大学院歯学研究科 リハビリテーション歯学講座 口腔器官解剖学分野 教授		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
2	30	1 年 前 ・ 後 期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会：歯科衛生学シリーズ 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 (医歯薬出版)		
参 考 図 書	全国歯科衛生士教育協議会：歯科衛生学シリーズ 「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」(医歯薬出版)		
学 習 目 標	頭頸部の肉眼構造を理解し、歯科衛生士として必要な基本的解剖学的知識を修得する。		
学 習 方 略	講義（スライド、プリント）および小テスト		
学 習 評 価	筆記試験（中間試験、定期試験） 講義態度および出席状況が著しく不良の場合、筆記試験を評価しない場合がある。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>口腔 I</u> 口裂周囲の体表構造、固有口腔と口腔前庭	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
2	<u>口腔 II</u> 舌、唾液腺	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
3	<u>頭蓋 I</u> 頭蓋を構成する骨、頭蓋の前面・上面・後面・側面	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
4	<u>頭蓋 II</u> 頭蓋の内面（内頭蓋底）、頭蓋の下面（外頭蓋底）	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
5	<u>頭蓋 III</u> 上顎骨 下顎骨	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント

6	<u>頭蓋 IV</u> 側頭骨、蝶形骨、口蓋骨、舌骨	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
7	<u>頭蓋 V</u> 縫合、顎関節 (中間試験)	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
8	<u>頭頸部の筋 I</u> 顔面筋 (表情筋)、咀嚼筋、舌骨上筋、舌骨下筋	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
9	<u>頭頸部の筋 II</u> 筋三角、筋膜隙	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
10	<u>頭頸部の脈管 I</u> 外頸動脈、舌動脈、顔面動脈、顎動脈	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
11	<u>頭頸部の脈管 II</u> 頭頸部の静脈、リンパ	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
12	<u>頭頸部の神経 I</u> 脳神経、三叉神経	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
13	<u>頭頸部の神経 II</u> 顔面神経、舌咽神経、迷走神経	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
14	<u>頭頸部の神経 III</u> 副神経、舌下神経、自律神経、脳神経に付属する神経節	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
15	<u>総まとめ</u>	畠山 雄次	スライド 教科書 プリント
	<u>試験</u>	畠山 雄次	

## 歯牙解剖

担 当 者	原田 章生 東北大学大学院歯学研究科 リハビリテーション歯学講座 分子・再生歯科補綴学分野 助教		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
1	20	1 年 前 期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」（医歯薬出版）		
参 考 図 書	尾花甚一 編：「最新歯型彫刻 理論と実際」（医歯薬出版） 藤田恒太郎 原著：「歯の解剖学」（金原出版）		
学 習 目 標	歯科医療の基本となる口腔形態を理解するために、歯冠部ならびに歯根の形態を理解する。		
学 習 方 略	講義、実技		
学 習 評 価	レポート、実習製作物、筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>口腔解剖学総論Ⅰ</u>	原田 章生	プロジェクター
2	<u>口腔解剖学総論Ⅱ</u>	原田 章生	プロジェクター
3	<u>上顎右側中切歯</u> 講義と歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP
4	<u>上顎右側中切歯</u> 歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP
5	<u>上顎右側第一大臼歯</u> 講義と歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP
6	<u>上顎右側第一大臼歯</u> 歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP
7	<u>上顎右側第一大臼歯</u> 歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP
8	<u>下顎右側第一大臼歯</u> 講義と歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP
9	<u>下顎右側第一大臼歯</u> 歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP

10	<u>下顎右側第一大臼歯</u> 歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP
	<u>試験</u>	原田 章生 ／専任教員	

## 病理学・口腔病理学

担 当 者	佐々木 優 おひさまにこにこ歯科医院 院長 宮城県歯科医師会 会長 宮城高等歯科衛生士学院 学院長		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
2	30	1年後期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	岩田隆子 監：「わかりやすい病理学」(南江堂) 高田隆、他 編：「新口腔病理学 第2版」(医歯薬出版)		
学 習 目 標	疾病についての基本的な考え方を修得し、顎口腔領域に発症する多彩な疾病についての理解を得る。		
学 習 方 略	教科書・プリントを使った講義		
学 習 評 価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	概論：病因論、方法論 総論：先天異常	佐々木 優	教科書 プリント
2	総論：循環障害	佐々木 優	教科書 プリント
3	総論：代謝障害	佐々木 優	教科書 プリント
4	総論：修復	佐々木 優	教科書 プリント
5	総論：炎症・免疫	佐々木 優	教科書 プリント
6	総論：腫瘍	佐々木 優	教科書 プリント
7	口腔病理：歯の発育異常	佐々木 優	教科書 プリント
8	口腔病理：齶蝕、歯髄・根尖部病変	佐々木 優	教科書 プリント

9	<u>口腔病理：辺縁性歯周組織病変</u>	佐々木 優	教科書 プリント
10	<u>口腔病理：口腔粘膜病変</u>	佐々木 優	教科書 プリント
11	<u>口腔病理：顎骨・顎関節病変</u>	佐々木 優	教科書 プリント
12	<u>口腔病理：嚢胞・歯原性腫瘍</u>	佐々木 優	教科書 プリント
13	<u>口腔病理：口腔腫瘍</u>	佐々木 優	教科書 プリント
14	<u>口腔病理：唾液腺病変</u>	佐々木 優	教科書 プリント
15	<u>口腔病理：顎口腔の発育異常</u>	佐々木 優	教科書 プリント
	試験	佐々木 優	

## 薬理学・歯科薬理学

担 当 者	中村 卓史 東北大学大学院歯学研究科 病態マネジメント歯学講座 歯科薬理学分野 准教授	
単 位	時間数	単 位
2	30	2
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監修：歯科衛生学シリーズ「疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学」（医歯薬出版）	
参 考 図 書		
学習目標	薬物がどのように生体に対して作用し、薬物治療が成り立っているのかを理解し、代表的な薬物に対して作用機序と薬理作用などを説明できる。	
学習方略	講義および確認小テストを行うので復習をすること。薬理学では、正常および病態を理解することも重要。生化学・生理学の知識を修得していると薬理学的理解が深まる。	
学習評価	小テストと筆記試験で総合的に評価する。	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>総論Ⅰ（医療と薬物）</u> ・薬物療法の種類 ・薬理作用の様式 ・薬理作用の基本形式 ・薬理作用の分類 ・用量反応関係と薬用量の用語 ・薬理作用の機序 ・薬理の生体膜通過様式と通過に影響する因子	中村 卓史	プロジェクター
2	<u>総論Ⅱ（身体と薬物①）</u> ・薬物動態（吸収・分布・代謝・排泄・パラメーター）	中村 卓史	プロジェクター
3	<u>総論Ⅲ（身体と薬物②）</u> ・薬物の適用方法 ・薬理作用に影響を与える因子 （薬物の用量と作用・生体の感受性）	中村 卓史	プロジェクター
4	<u>総論Ⅳ（身体と薬物③）</u> ・薬物の連用（蓄積・耐性・依存） ・薬物の併用による相互作用（協力作用・拮抗作用） ・薬物の副作用・有害作用	中村 卓史	プロジェクター

5	<u>総論V（医薬品を適用する際の注意）</u> ・ライフステージと薬物 （小児・高齢者・妊婦・有病者への薬物投与） ・服薬指導	中村 卓史	プロジェクター
6	<u>総論V（薬物の取り扱い）</u> ・剤型、処方せん、保存方法 <u>総論VI（薬物と法律・薬物と医薬品）</u> ・薬機法、日本薬局方、毒物・劇物、 ・取締法（麻薬・向精神薬・覚醒剤、大麻）	中村 卓史	プロジェクター
7	<u>ビタミン・ホルモン</u> ・ビタミンの種類と欠乏症 ・ホルモン製剤	中村 卓史	プロジェクター
8	<u>末梢神経系に作用する薬物</u> ・神経伝達物質 ・自律神経系作用薬 ・骨格筋弛緩薬	中村 卓史	プロジェクター
9	<u>中枢神経系に作用する薬物</u> ・全身麻酔薬 ・催眠薬 ・向精神薬 （抗精神病薬・抗不安薬・抗うつ薬・抗躁薬） ・抗けいれん薬（抗てんかん薬） ・抗パーキンソン病薬 ・中枢神経興奮薬 <u>循環器系作用薬薬物</u> <u>腎臓に作用する薬物</u>	中村 卓史	プロジェクター
10	<u>呼吸器系に作用する薬物</u> <u>消化器系に作用する薬物</u> <u>血液に作用する薬物</u> ・止血薬（局所性止血薬、全身性止血薬） ・抗血栓薬（抗凝固薬・抗血小板薬） ・抗貧血薬 <u>免疫と薬物</u> <u>悪性腫瘍と薬物</u> <u>代謝性疾患治療薬</u>	中村 卓史	プロジェクター
11	<u>炎症と薬物</u> ・ステロイド性抗炎症薬 ・非ステロイド性抗炎症薬 ・抗ヒスタミン薬痛みと薬物 <u>痛みと薬物</u> ・鎮痛薬（麻薬性鎮痛薬・非麻薬性鎮痛薬・解熱鎮痛薬）	中村 卓史	プロジェクター

12	<u>局所麻酔薬</u> ・局所麻酔薬・血管収縮役の添加 <u>抗感染症薬</u>	中村 卓史	プロジェクター
13	<u>消毒に使用する薬物</u> <u>歯科用薬物Ⅰ</u> ・う蝕予防薬 ・歯内療法薬	中村 卓史	プロジェクター
14	<u>歯科用薬物Ⅱ</u> ・歯周疾患治療薬 ・顎口腔粘膜と薬物	中村 卓史	プロジェクター
	<u>試験</u>	中村 卓史	プロジェクター
15	<u>試験解説・まとめ</u>	中村 卓史	プロジェクター

## 微生物学・口腔微生物学

担 当 者	黒石 智誠 東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 口腔微生物・免疫学分野 講師		
単 位	時間数	履修時期	
2	30	1年後期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	必要に応じて紹介する。		
学 習 目 標	微生物の生態、微生物に対する宿主の免疫応答、病原微生物によって引き起こされる感染症を理解する。		
学 習 方 略	教科書を基にしたスライドを中心に講義し、必要に応じて資料を配付する。随時、小テストを行い、理解度を確認する。		
学 習 評 価	期末筆記試験に小テストの成績も加味し、総合的に評価する。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>I. 微生物学</u> 微生物の概要 感染	黒石 智誠	プロジェクター
2	<u>I. 微生物学</u> 微生物学総論	黒石 智誠	プロジェクター
3	<u>I. 微生物学</u> 微生物の培養、観察と検査 化学療法	黒石 智誠	プロジェクター
4	<u>I. 微生物学</u> 消毒と滅菌	黒石 智誠	プロジェクター
5	<u>II. 免疫学</u> 免疫 (1)	黒石 智誠	プロジェクター
6	<u>II. 免疫学</u> 免疫 (2)	黒石 智誠	プロジェクター
7	<u>II. 免疫学</u> アレルギー 免疫に関連する疾患	黒石 智誠	プロジェクター
8	<u>III. 口腔微生物学</u> 口腔環境と常在微生物	黒石 智誠	プロジェクター
9	<u>III. 口腔微生物学</u> バイオフィルムとしてのプラーク (歯垢)	黒石 智誠	プロジェクター

10	<u>Ⅲ. 口腔微生物学</u> う蝕の細菌学	黒石 智誠	プロジェクター
11	<u>Ⅲ. 口腔微生物学</u> 歯周病の細菌学 その他の口腔感染症	黒石 智誠	プロジェクター
12	<u>Ⅳ. 病原微生物学</u> 主な病原細菌 (1)	黒石 智誠	プロジェクター
13	<u>Ⅳ. 病原微生物学</u> 主な病原細菌 (2)	黒石 智誠	プロジェクター
14	<u>Ⅳ. 病原微生物学</u> 歯科に関連するウイルスとウイルス感染症 (1)	黒石 智誠	プロジェクター
15	<u>Ⅳ. 病原微生物学</u> 歯科に関連するウイルスとウイルス感染症 (2) 歯科に関連する真菌 口腔領域の原虫 プリオン	黒石 智誠	プロジェクター
	<u>試験</u>	黒石 智誠	

## 口腔衛生

担 当 者	小原 由紀 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
1	20	1年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学」(医歯薬出版)		
参 考 図 書			
学 習 目 標	口腔の健康についての理解を深め、集団における口腔疾患予防能力、地域集団に対する疾病の予防能力を高めるために口腔保健に関する専門知識を習得すること。		
学 習 方 略	講義		
学 習 評 価	講義終了後に試験を行い、出席状況も併せて評価を行う。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>口腔衛生学・総論</u> <u>口腔保健の保持増進と予防の概念</u> <u>口腔の構造と機能</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
2	<u>歯・口腔の付着物</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
3	<u>歯科疾患の疫学</u> <u>口腔清掃</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
4	<u>う蝕の予防①</u> <u>発症要因とメカニズム</u> <u>う蝕活動性試験</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
5	<u>う蝕の予防②</u> <u>う蝕予防方法</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
6	<u>フッ化物によるう蝕予防</u>	小原 由紀	PC プロジェクター

7	<u>歯周疾患の予防</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
8	<u>その他の疾患・異常の予防</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
9	<u>まとめ・媒体作成</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	小原 由紀	
10	<u>試験解説・まとめ</u>	小原 由紀	PC プロジェクター

## 公衆歯科衛生・歯科衛生統計

担 当 者	瀬名 浩太郎 東北大学大学院歯学研究科 地域共生社会歯学講座 予防歯科学分野 講師 専任教員	
単 位	時間数	履修時期
2	30	1年後期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と 予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学」（医歯薬出版）	
参 考 図 書		
学習目標	歯科衛生活動に必要な保健医療情報の収集・理解および収集したデータの 処理・解析方法を習得する。	
学習方略	教科書を中心に、スライドを使用しながら講義を行う。	
学習評価	講義・演習への参加態度。期末試験。	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>保健情報と保健統計 1</u> 保健情報・保健統計・保健情報の種類	瀬名 浩太郎	プロジェクター
2	<u>保健情報と保健統計 2</u> 国家統計調査	瀬名 浩太郎	プロジェクター
3	<u>保健情報と疫学 1</u> 疫学総論・健康障害の発生要因	瀬名 浩太郎	プロジェクター
4	<u>保健情報と疫学 2</u> 疫学の方法論 スクリーニング	瀬名 浩太郎	プロジェクター
5	<u>歯科疾患の指数 1</u> 数量化と指数・う蝕の指数	瀬名 浩太郎	プロジェクター
6	<u>歯科疾患の指数 2</u> 歯周疾患の指数	瀬名 浩太郎	プロジェクター

7	<u>歯科疾患の指数3</u> 口腔清掃状態の指数・不正咬合と歯列不正の指数・ 歯のフッ素症指数・その他の歯科保健指標	瀬名 浩太郎	プロジェクター
8	<u>保健情報の分析手順</u> 保健情報の収集・調査・母集団と標本抽出	瀬名 浩太郎	プロジェクター
9	<u>保健統計の方法1</u> データの特性・記述統計・推定と信頼区間	瀬名 浩太郎	プロジェクター
10	<u>保健統計の方法2</u> 検定・保健情報の多変量解析・その他	瀬名 浩太郎	プロジェクター
11 12	<u>口腔観察法Ⅰ（講義・演習）</u> 口腔清掃の指数	専任教員	
13 14	<u>口腔観察法Ⅱ（講義・演習）</u> 歯周疾患の指数	専任教員	
15	<u>口腔内細菌の観察</u> 位相差顕微鏡	専任教員	
	<u>試験</u>	瀬名 浩太郎 ／専任教員	

## 衛生学・公衆衛生学

担 当 者	萩原 潤 宮城大学 看護学群 兼 基盤教育群 准教授		
単 位	時間数	履修時期	
1	20	1年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：「最新歯科衛生士教本 保健生態学」（医歯薬出版）		
参 考 図 書	小山 洋、他 監：「シンプル衛生公衆衛生学」（南江堂） 厚生統計協会 編：「国民衛生の動向」（厚生統計協会）		
学習目標	公衆衛生とは疾病の予防、寿命の延長、生活の質の向上を目的とした社会的な活動とその根拠となる知識を指す。歯科衛生士の活動は国民の公衆衛生の向上に寄与する役割がある。本講義では公衆衛生活動を行うため必要な知識である環境と人との関わり、疾病を予防するための社会の取り組みに関する知識の修得を目的とする。		
学習方略	教科書に沿って講義を行う		
学習評価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>総論</u> 衛生学・公衆衛生学の概略と公衆衛生活動について解説し、特に重要な概念である健康と予防医学について解説する。	萩原 潤	
2	<u>疫学、人口</u> 疫学：疫学の概念と様々な疫学研究の方法を解説し、疫学研究によって得られた知見について紹介する。 人口：人口に関する指標の計算方法と数値の解釈について解説する。その上で、これまでの世界と日本の人口の推移や、現在の状態を示す。	萩原 潤	
3	<u>環境と健康</u> 環境が人間に与える影響について生活環境（大気、水、騒音など）ごとに解説する。さらに廃棄物処理、環境保全についての取り組みを解説し、地球環境問題にも言及する。	萩原 潤	

4	<u>感染症</u> 感染症の概念とその流行について解説し、わが国における感染症の流行予防の対策を解説する。さらに、主な感染症の発生状況についても解説する。	萩原 潤	
5	<u>食品と健康</u> 現代の日本人の栄養と生活習慣の状況を解説し、さらに食中毒の変遷、特定保健用食品や食品添加物に関する行政の取り組みを紹介する。	萩原 潤	
6	<u>地域保健・公衆衛生、母子保健</u> 地域保健・公衆衛生：地域保健の概念と日本において地域保健活動を行う行政組織について解説する。 母子保健：女性が妊娠してから出産するまでの母子保健、生まれた子どもが学校に入学するまでの小児保健について解説する。	萩原 潤	
7	<u>学校保健、成人保健</u> 学校保健：学校保健の意義と概要、日本における学校保健の体制、組織について述べる。 成人保健：わが国における成人保健の現状について解説する。この年齢層において重要な問題である生活習慣病について解説する。	萩原 潤	
8	<u>産業保健、老人（高齢者）保健</u> 産業保健：産業保健の概念とその特徴について解説し、職業性疾病の定義と内容を解説する。 老人保健：高齢者に特有な健康障害と、社会環境について解説する。	萩原 潤	
9	<u>精神保健、災害時の歯科保健、国際保健</u> 精神保健：精神障害の分類と精神保健に関わる社会の取り組みについて紹介する。 災害時の歯科保健：大規模災害時の歯科保健について紹介する。 国際保健：日本における国際保健の仕組みや取組を紹介する。	萩原 潤	
	<u>筆記試験</u>	萩原 潤	
10	<u>まとめ：試験問題の解説</u>	萩原 潤	

## 歯科衛生士概論

担 当 者	小原 由紀 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任 石田 千尋 宮城高等歯科衛生士学院 専任教員 特別講師		
単 位	時間数	履修時期	
2	30	1年前・後期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯科衛生学概論」 (医歯薬出版) 佐藤陽子、齋藤淳 編著「歯科衛生ケアプロセス 実践ガイド」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：「最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理第2版」(医歯薬出版)		
学習目標	対人援助職である歯科衛生士に求められる基本的態度を理解し、歯科衛生業務を実践する上で必要な知識および論理的思考の基礎を修得する。		
学習方略	講義		
学習評価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>歯科衛生学とは</u> <u>歯科衛生の歴史と現況</u> ・ 歯科衛生士の歴史 ・ 歯科衛生士業務	小原 由紀	PC プロジェクター
2	<u>歯科衛生と健康</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
3	<u>歯科衛生士法と関係する法規</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
4	<u>歯科衛生士と倫理</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
5	<u>歯科衛生実践のための理論</u>	小原 由紀	PC プロジェクター

6	<u>歯科衛生過程①</u> ・ 歯科衛生過程の必要性 ・ 歯科衛生過程の構成要素	小原 由紀	PC プロジェクター
7	<u>歯科衛生過程②</u> ・ 歯科衛生アセスメント	小原 由紀	PC プロジェクター
8	<u>歯科衛生過程③</u> ・ 歯科衛生診断と計画立案	小原 由紀	PC プロジェクター
9	<u>歯科衛生過程④</u> ・ 実施と評価	小原 由紀	PC プロジェクター
10	<u>歯科衛生過程⑤</u> ・ ペーパーペイシエントを対象とした展開	小原 由紀	PC プロジェクター
11	<u>医療安全確保における歯科衛生士役割</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
12	<u>歯科衛生士の活動の場</u> ・ 諸外国における歯科衛生士の業務 ・ 企業での歯科衛生士の役割	特別講師	PC プロジェクター
13	<u>病院歯科における歯科衛生士の役割</u> ・ 周術期口腔機能管理とチーム医療	石田 千尋	PC プロジェクター
14	<u>保健・医療・福祉の制度と多職種連携</u> <u>災害時における歯科衛生活動</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
15	<u>国際協力</u> <u>歯科衛生士のキャリア形成</u> <u>まとめ</u>	小原 由紀	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	小原 由紀	

## 保存修復学

担 当 者	鎌野 優弥 東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座 歯科保存学分野 講師		
単 位	時間数	履修時期	
1	20	1年後期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	田上順次・千田彰・奈良陽一郎・桃井保子 編：「改訂版 保存修復学21」(永末出版) 平井義人・寺中敏夫、他 編：「保存修復学 第5版」(医歯薬出版)		
学習目標	保存修復学の概要を教え、歯牙硬組織疾患の診査・診断、治療の手順について理解する。		
学習方略	図、写真、ビデオを用いた講義		
学習評価	試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>歯の保存療法の種類と口腔診査</u> 歯の保存療法と歯科保存学・対象となる疾患 基礎知識と前準備・問診・現症の診査	鎌野 優弥	プロジェクター
2	<u>保存修復学の意味と概要①</u> 硬組織疾患ないし発育異常の種類と処置法 適応症と禁忌症、う蝕について	鎌野 優弥	プロジェクター
3	<u>窩洞の分類と名称</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
4	<u>保存修復学の意味と概要②</u> 処置ステップの流れと概要	鎌野 優弥	プロジェクター
5	<u>保存修復学の意味と概要③</u> 切削用器具・歯髄保護・欠損修復とその種類	鎌野 優弥	プロジェクター

6	<u>コンポジットレジン修復</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
7	<u>鋳造修復</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
8	<u>ポーセレンインレー、レジンインレー修復</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
9	<u>ホワイトニング、ラミネートベニア修復</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
10	<u>保存修復における歯科衛生士の役割</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
	<u>試験</u>	鎌野 優弥	

# 口腔保健学

## (口腔疾患予防処置法 I ・ 保健指導法 I ・ 歯科診療補助法 I )

担 当 者	専任教員／特別講師（歯科医師、歯科衛生士、他）		
	単 位	時 間	履修時期
口腔疾患予防処置法 I	4	160時間	1年
保健指導法 I	3	120時間	1年
歯科診療補助法 I	3	122時間	1年
教 科 書	歯科予防処置論・歯科保健指導論／歯科診療補助論（医歯薬出版）／歯科機器 歯科材料（医歯薬出版）／歯科医療倫理（医歯薬出版）／歯科衛生ケアプロセス 実践ガイド（医歯薬出版）／人体の構造と機能2 栄養と代謝（医歯薬出版）		
参 考 図 書	標準歯周病学（医学書院）／ペリオドンタルインスツルメンテーション（医歯薬出版）／口腔ケア健康ガイド（学建書院）／歯科保健指導ハンドブック（医歯薬出版）／喫煙と健康（厚生労働省）／デンタルプラーク細菌（医歯薬出版）／Dental Hygiene Theory and Practice 2 <sup>nd</sup> ed.（WB Saunders）／歯ブラシ事典（学建書院）他		
一般目標（GIO）	対象となる個人、集団のニーズに応じた適切な歯科衛生行動をとるために、問題解決能力を高め、専門的な支援の実践につながる知識、技術、態度を修得する		
行動目標（SBOs）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 対象者から信頼を得られるような配慮を行う</li> <li>2) 清潔不潔の概念を理解し、器具の滅菌、消毒や診療室の清掃を行う</li> <li>3) 歯科治療時に必要な器械、材料の準備を行う</li> <li>4) 対象となる組織の健康像を説明する</li> <li>5) う蝕の発症と進行および予防について説明する</li> <li>6) 歯科衛生ケアプロセスの概要を説明する</li> <li>7) クリティカル思考の重要性について説明する</li> </ol>		
学習方略（LS）	講義・演習・実習・グループ討議、およびシミュレーション実習		
学習評価（EV）	<p>形成的評価 チェックリスト、観察記録、簡略化 OSCE</p> <p>総括的評価 前・後期末試験 基礎知識客観試験、口頭試問、レポート</p>		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1 2	基礎訓練 ・ 手指基本訓練（折り紙） ・ マネキンの取扱い	専任教員	
3	<u>口腔保健学の概要 講義</u> ・ 口腔保健学とは	専任教員	
4 ～ 7	<u>口腔保健学の概要（1、2年合同実習①） 演習</u> ・ 合同実習オリエンテーション（体験実習） アセスメント ・ 患者誘導、問診、口腔内概診 ・ 口腔内写真撮影および資料の取り扱いと管理 ・ プラークスコア、う蝕活動性試験 実施（歯科衛生介入） ・ T B I、フッ化物応用 ・ 栄養指導 評価 ・ 実施内容の評価と記録	専任教員	
8	<u>診：歯科診療補助 総論 講義</u> ・ 歯科診療補助の概要	専任教員	
9 ～ 11	<u>診：医療安全と感染予防 講義・実習</u> ・ 手指消毒 ・ 滅菌と消毒 ・ 医療廃棄物の取扱い	専任教員	
12	<u>診：歯科診療室における共同動作 講義</u> ・ 歯科診療室の基礎知識 ・ 共同動作の基本 ・ 共同動作の方法	専任教員	
13 14	<u>診：一般診療用器械・ユニット操作 講義・実習</u> ・ 歯科診療補助の意味 ・ 診療室の管理、資料の整理 ・ 使用する主な歯科器械類 ・ 歯科用ユニット操作	専任教員	

15	診：患者誘導 講義・演習	専任教員	
16	・ 接遇・患者誘導の方法		
17	診：口腔内洗浄 講義・実習	専任教員	
18	・ 歯科用ユニットの操作、ライティング、スリーウェイ シリンジの操作、バキュームの操作 ・ メンテナンス		
19 20	診：衛生用品作成 講義・演習 ・ 綿球、カット綿、ロールワッテ、小折ガーゼ、ブローチ綿花の 用途 ・ 作製方法		
21 22	診：歯科診療前準備、歯科診療記録 講義・演習 ・ 診療室の準備、受付業務 問診、カルテ、歯科用略語、口腔内概診の記録	専任教員	
23	㊦：歯科予防処置 総論 講義 ・ 歯科予防処置の概要 ・ 歯科予防処置と歯科衛生士の役割	専任教員	
24	㊦：歯周疾患予防の基礎 講義 ・ 対象となる組織の健康像 ・ 歯周疾患の発症と進行 ・ 歯周疾患予防の考え方と予防手段 ・ リスクと診査	専任教員	
25	㊦：歯科保健指導 総論 講義 ・ 歯科保健指導とは ・ 行動変容	専任教員	
26	㊦：プラークコントロールの意義 講義①（小学校実習前） ・ 口腔内の付着物 ・ プラークコントロールの方法	専任教員	
27	㊦：口腔清掃自習法 演習（小学校実習前） ・ 口腔内の観察	専任教員	
28 29	㊦：口腔清掃用具の検討① 講義・演習（小学校実習前） ・ 各種歯ブラシの特徴 ・ 各種歯ブラシの種類	専任教員	

30 31	<u>係</u> ：各種ブラッシング法検討実習 講義・演習（小学校実習前） ・毛先を使う方法 ・毛の脇腹を使う方法	専任教員	
32 33	<u>係</u> ：口腔清掃法① 実習（小学校実習前） ・各種歯ブラシ	専任教員	
34 ～ 42	<u>各現場活動における口腔衛生指導</u> ・小学校口腔衛生指導実習 ・指導案作製、準備、リハーサル	専任教員	
43 44	<u>係</u> ：口腔観察法①－1 講義・演習 ・口腔の付着物の観察、記録の作成 ・舌、粘膜の観察	専任教員	
45 46	<u>係</u> ：口腔観察法①－2 講義・実習 ・歯肉の観察 ・染出し	専任教員	
47 48	<u>係</u> ：口腔観察法② 実習 ・口腔清掃の指数（オレリーのPCR）	専任教員	
49 50	<u>係</u> ：口腔清掃用具の検討② 講義・演習 ・各種清掃補助器具 （デンタルフロス、歯間ブラシ、ワンタフトブラシ、 舌ブラシ等） ・各種清掃補助器具の為害作用	専任教員	
51 52	<u>係</u> ：口腔清掃法② 実習 ・デンタルフロス ・ワンタフト	専任教員	
53 54	<u>係</u> ：口腔清掃用具の検討③ 講義 ・歯磨剤の効果、主な作用 ・歯磨剤の所要条件 ・歯磨剤の分類 ・歯磨剤の為害作用	専任教員	
55	<u>喫煙について 講義</u> ・喫煙の及ぼす影響 ・グループワーク	特別講師 ／専任教員	

56	<u>診</u> ： <u>模型材の取扱い 講義・演習</u> ・歯科用石こうの取扱い ・スタディモデルの意義と目的	専任教員	
57			
58	<u>診</u> ： <u>印象材の取扱い① 講義・演習</u> ・アルジネート印象材の取扱い ・アルジネート印象材の練和（手練り）	専任教員	
59			
60	<u>診</u> ： <u>概形印象採得① 講義・演習</u> ・既製トレーの選択、試適、補正 ・下顎概形印象採得	専任教員	
61			
62	<u>診</u> ： <u>概形印象採得② 講義・演習</u> ・既製トレーの選択、試適、補正 ・上顎概形印象採得	専任教員	
63			
64	<u>診</u> ： <u>印象材の取扱い② 講義・演習</u> ・アルジネート印象材の取扱い ・アルジネート印象材の練和（器械練り）	専任教員	
65			
66	<u>診</u> ： <u>概形印象採得～スタディモデルの作製① 実習</u> ・既製トレーの選択、試適、補正 ・下顎概形印象採得 ・石こう注入、下顎模型作製	専任教員	
67			
68			
69	<u>診</u> ： <u>概形印象採得～スタディモデルの作製② 実習</u> ・既製トレーの選択、試適、補正 ・上顎概形印象採得 ・石こう注入、上顎模型作製	専任教員	
70			
70	<u>研</u> ： <u>使用器材の名称と使用目的 講義・演習</u> ・診査用器具 ・各種スケーラー ・基本セットの取り扱い	専任教員	
71	<u>研</u> ： <u>歯周検査の必要性① 講義・演習</u> ・歯周組織検査の方法 ・操作方法、基本姿勢 ・プロービング操作	専任教員	
72			

73	☞： <u>歯周検査の必要性② 実習</u>	専任教員	
74	・プロービング 上顎 3-3の操作法		
75	☞： <u>歯周検査の必要性③ 実習</u>	専任教員	
76	・プロービング 下顎 3-3の操作法		
77	☞： <u>歯周検査の必要性 演習</u>	専任教員	
	・プロービング 臼歯部の操作法		
78	☞： <u>歯周検査の必要性④ 実習</u>	専任教員	
79	・プロービング 下顎 左右 4-7の操作法		
80	☞： <u>歯周検査の必要性⑤ 実習</u>	専任教員	
81	・プロービング 上顎 左右 4-7の操作法		
	☞： <u>実技試験（プロービングの基本操作）</u>	専任教員	
	・オリエンテーション		
	実技試験（プロービングの基本操作）	専任教員	
82	☞： <u>口腔清掃法③ 実習</u>	専任教員	
	・ブラッシングテクニック（100%みがき）		
83	☞： <u>口腔清掃法④ 実習</u>	専任教員	
84	・ブラッシングテクニック（術者みがき）		
85	☞： <u>口腔清掃用具の検討④ 講義・演習</u>	専任教員	
86	・電動歯ブラシの種類 ・電動歯ブラシの為害作用 グループワーク		
	<u>歯科臨床見学実習 事前準備・まとめ</u>	専任教員	
	・オリエンテーション ・実習報告会、申し送り書作成		
87	☞： <u>歯面研磨の必要性① 講義・演習</u>	専任教員	
88	・目的、使用器材と操作方法 ・偶発事故の防止		

89	☞： <u>歯面研磨の必要性② 実習</u>	専任教員				
90	・口腔内概診、染出し、歯面研磨（下顎）					
91	☞： <u>歯面研磨の必要性③ 実習</u>	専任教員				
92	・口腔内概診、染出し、歯面研磨（上顎）					
93	☞： <u>復習実習</u>	専任教員				
94	・歯面研磨 実習					
95	☞： <u>超音波・エアスケーラーの基本操作法① 講義・演習</u> ・超音波スケーラーの特徴、使用方法 ・エアスケーラーの特徴、使用方法 ・感染対策 ・超音波スケーラーでの人工歯石除去と観察	専任教員				
96						
97				☞： <u>超音波スケーラーの基本操作法② 実習</u>	専任教員	
98				・口腔内概診、染出し、超音波スケーリング（上顎）		
99	☞： <u>超音波スケーラーの基本操作法③ 実習</u>	専任教員				
100	・口腔内概診、染出し、超音波スケーリング（下顎）					
101	☞： <u>復習実習</u>	専任教員				
102	・超音波スケーラー 実習					
103	☞： <u>鎌型スケーラーの基本操作法 講義</u> ・目的、操作方法、基本姿勢 ・鎌型スケーラー操作法、各種運動	専任教員				
104	☞： <u>鎌型スケーラーの基本操作法</u> ・基礎訓練 ・基本3運動の基礎訓練（前歯部）					
105	☞： <u>鎌型スケーラーの基本操作法 演習①</u> ・基本訓練（各種運動） ・上顎3-3の操作法	専任教員				
106	☞： <u>鎌型スケーラーの基本操作法 演習②</u> ・各種運動（各種運動） ・下顎3-3の操作法					

107	<p>㊦：鎌型スケーラーの基本操作法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本訓練</li> <li>・基本の3運動の基礎訓練（臼歯部）</li> </ul>	専任教員	
108 109	<p>㊦：鎌型スケーラーの基本操作法 実習①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔内概診、下顎3-3の操作法</li> </ul>	専任教員	
110 111	<p>㊦：鎌型スケーラーの基本操作法 実習②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔内概診、上顎3-3の操作方法</li> </ul>	専任教員	
112	<p>㊦：鎌型スケーラーの基本操作法 演習③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種運動（各種運動）</li> <li>・右下4-7の操作法</li> </ul>	専任教員	
113	<p>㊦：鎌型スケーラーの基本操作法 演習④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種運動（各種運動）</li> <li>・右上4-7の操作法</li> </ul>	専任教員	
114 115	<p>㊦：鎌型スケーラーの基本操作法 実習③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔内概診、右下4-7の操作法</li> </ul>	専任教員	
116 117	<p>㊦：鎌型スケーラーの基本操作法 実習④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔内概診、右上4-7の操作法</li> </ul>	専任教員	
118	<p>㊦：鎌型スケーラーの基本操作法 演習⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種運動（各種運動）</li> <li>・左下4-7の操作法</li> </ul>	専任教員	
119 120	<p>㊦：鎌型スケーラーの基本操作法 実習⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔内概診、左下4-7の操作法</li> </ul>	専任教員	
121 122	<p>㊦：シャープニングの必要性～ 鎌型スケーラー 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的、使用器材、操作方法</li> </ul>	専任教員	
123	<p>㊦：鎌型スケーラーの基本操作法 演習⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種運動（各種運動）</li> <li>・左上4-7の操作法</li> </ul>	専任教員	
124 125	<p>㊦：鎌型スケーラーの基本操作法 実習⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔内概診、左上4-7の操作法</li> </ul>	専任教員	

126 127	<p>☎：復習実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケーリング（鎌型スケーラー）</li> <li>・シャープニング</li> </ul>	専任教員	
128 129	<p>診：印象材の取扱い③ 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寒天印象材の取扱い</li> <li>・寒天、アルジネート連合印象採得（Ⅰ級窩洞）</li> </ul>	専任教員	
130 131	<p>診：印象材の取扱い④ 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合成ゴム質（エラストマー）印象材の取扱い</li> <li>・シリコーンゴム印象材（付加型）による精密印象採得（2回法）（Ⅱ級窩洞）</li> <li>・歯肉圧排法</li> </ul>	専任教員	
132 133	<p>診：精密印象 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シリコーンゴム印象材（付加型）による精密印象採得（2回法）</li> <li>・歯肉圧排、対合歯印象採得、咬合採得</li> </ul>	専任教員	
134	<p>診：仮着材の取扱い 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮着材の種類、特徴、取扱い</li> </ul>	専任教員	
135 136	<p>診：合着材および接着材の取扱い 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科用セメントの種類、特徴、取扱い</li> </ul>	専任教員	
137 138	<p>診：仮封材の取扱い 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮封材の種類、特徴、取扱い</li> </ul>	専任教員	
139 140	<p>診：成形歯冠修復材の取扱い① 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成形歯冠修復材の種類</li> <li>・ガラスアイオノマーセメントの取扱い</li> <li>・ガラスアイオノマーセメント修復（術式、器具器材の名称、取扱い）</li> <li>・ガラスアイオノマーセメント（Ⅴ級窩洞）充填</li> </ul>	専任教員	
141 142	<p>診：成形歯冠修復材の取扱い② 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンポジットレジンの取扱い</li> <li>・コンポジットレジン修復（術式、器具器材の名称、取扱い）</li> <li>・コンポジットレジン（Ⅲ級窩洞）充填</li> </ul>	専任教員	

143	係：保健指導の実際① 演習	専任教員	
144	・ 症例検討①		
145	総合実習（模擬患者実習①）（実習見学） アセスメント ・ 患者誘導、問診、口腔内概診・口腔内写真撮影 ・ 歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデル、口腔関連 QOL モデルの応用 ・ う蝕活動性試験 ・ 情報収集、処理	専任教員 ／特別講師	
146	歯科衛生診断、計画立案 ・ 問題点の明確化と歯科衛生ケアプランの作成（簡易） 実施（歯科衛生介入） ・ T B I、歯面研磨・フッ化物応用 ・ 栄養指導、禁煙指導 評価 ・ 実施内容の評価、業務記録の作成、歯科衛生ケアプロセスの展開		
147	係：食生活指導	専任教員	
148	・ 食生活指導に必要な基礎栄養学 ・ 口腔疾患と食生活の関連について		
149	係：食生活指導	専任教員	
150	・ 妊産婦期、乳児期の栄養と食生活指導 ・ 幼児期、学齢期の栄養と食生活指導		
151	係：食生活指導	専任教員	
152	・ 思春期、青年期、成人期の栄養と食生活指導 ・ 高齢期の栄養と食生活指導		
153	係：問診からの聞き取り	専任教員	
154	・ 情報収集と医療面接		
155	係：復習実習	専任教員	
156	・ ブラッシングテクニック（術者みがき）		

157 158	<p>☎：<u>う蝕予防の基礎 講義</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる組織 ・病因と病態論</li> <li>・う蝕の発症と進行</li> <li>・う蝕予防の考え方と予防手段 ・リスクと診査</li> </ul>	専任教員	
159 ～ 161	<p>☎：<u>う蝕活動性試験 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的、種類、方法、評価</li> </ul>	専任教員	
162 163	<p>☎：<u>フッ素洗口法、フッ化ジアミン銀塗布法 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的、方法、患者指導</li> <li>・集団応用</li> </ul>	専任教員	
164 165	<p>☎：<u>フッ化物歯面塗布法 演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的、方法、安全性の配慮、患者指導</li> </ul>	専任教員	
166 ～ 168	<p>☎：<u>フッ化物歯面塗布法 実習（綿球塗布法）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的、方法、安全性の配慮、患者指導</li> </ul>	専任教員	
169 170	<p>☎：<u>フッ化物歯面塗布法 実習（トレー法）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的、方法、安全性の配慮、患者指導</li> </ul>	専任教員	
171 172	<p>☎：<u>簡易防湿、完全防湿 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラバーダム防湿の術式、使用器具器材の名称、取扱い</li> </ul>	専任教員	
173 174	<p>☎：<u>小窩裂溝填塞法 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的、種類、方法、患者指導</li> </ul>	専任教員	
175 176	<p>☎：<u>小窩裂溝填塞法 実習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児のう蝕予防</li> <li>ラバーダム防湿の術式手順、使用器具器材の取扱い</li> <li>小窩裂溝填塞の術式手順、使用器具器材の取扱い</li> </ul>	専任教員	
177 178	<p>☎：<u>小外科手術時の器材の取扱い 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小外科手術時の器材の取扱い</li> <li>・局所麻酔薬、替刃メス、縫合用器材の準備と取扱い</li> <li>・歯肉包帯材の取扱い</li> <li>・外科治療、痛みに対する処置、術後指導</li> </ul>	専任教員	

179 180	<p>診：<u>歯科診療中における主な事故とその対策 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事故とその対策</li> <li>・救急蘇生法</li> </ul> <p>一次救命処置、過換気症候群の対応、歯科用ユニットでの体位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイタルサイン</li> </ul>	専任教員	
181 ～ 184	<p>診：<u>口腔内写真撮影法 講義・実習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔内カメラの取扱い、5枚法の撮影方法</li> </ul>	専任教員	
185	<p>診：<u>口腔内写真撮影 情報処理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔内写真データ処理</li> </ul>	専任教員	
186	<p>係：<u>プラークコントロールの意義 講義②</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラークが及ぼす口腔内の影響</li> <li>・プラークコントロールの方法</li> <li>    ロールプレイにて患者説明</li> </ul>	専任教員	
187 ～ 189	<p>㊦：<u>復習実習</u></p> <p>歯周基本治療の相互実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PD</li> <li>・スケーリング（超音波スケーラー）</li> <li>・歯面研磨</li> </ul>	専任教員	
	<p>診：<u>実技試験（接遇、患者誘導）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> </ul>	専任教員	
	<p><u>実技試験（接遇、患者誘導）</u></p>	専任教員	
	<p><u>実技試験（簡略化臨床能力試験）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> </ul>	専任教員	
	<p>係：<u>実技試験（簡略化臨床能力試験）</u></p>	専任教員	

190 191	<u>⑧：対象別指導法 ～学童期～ 講義</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学童期（低学年）の歯科保健行動</li> <li>・学童期（中学年）の歯科保健行動</li> <li>・学童期（高学年）の歯科保健行動</li> </ul>	専任教員	
192 ～ 200	<u>⑧：対象別指導法 ～学童期～ 講義・演習</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校実習の概要                      ・指導案の作成</li> <li>・学校歯科保健の概要</li> <li>・歯科保健指導と授業の考え方</li> <li>・集団指導と教材資料</li> </ul>	専任教員 ／特別講師	
201	<u>⑧：小集団指導法① 演習</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発声、朗読法</li> </ul>	専任教員	
	<u>歯科臨床実習 事前準備・まとめ</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・実習のまとめ（申し送り書作成）</li> </ul>	専任教員	
	<u>期末試験</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記</li> </ul>	専任教員	

# 看護学 I

担 当 者	渡邊 生恵 東北福祉大学 健康科学部 保健看護学科 教授 石川 環 東北福祉大学 健康科学部 保健看護学科 講師	
単 位	時間数	履修時期
1	15	1年後期
教 科 書	講義時に資料配付	
参 考 図 書	講義中に随時紹介	
学習目標	看護における援助のプロセス・方法を学び、医療職者に共通する問題解決過程、観察、安全管理について理解する。	
学習方略	講義、演習	
学習評価	試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>看護とは①</u> 歯科衛生士とともに働くことの多い看護職（看護師・助産師・保健師）について、その役割と対象者について学びます。	渡邊 生恵	PC プロジェクター
2	<u>情報収集と観察①</u> (演習)バイタルサイン（意識、体温、脈拍、呼吸、血圧）の測定を通して、対象者の観察の重要性とその方法を学びます。	石川 環	体温計
3	<u>情報収集と観察②</u> (演習)バイタルサイン（意識、体温、脈拍、呼吸、血圧）の測定を通して、対象者の観察の重要性とその方法を学びます。	石川 環	聴診器、血圧計
4	<u>情報収集と観察③</u> (演習)バイタルサイン（意識、体温、脈拍、呼吸、血圧）の測定を通して、対象者の観察の重要性とその方法を学びます。	石川 環	体温計、 聴診器、血圧計
5	<u>看護とは②</u> 看護における問題解決過程を通して、歯科衛生ケアプロセスとの共通点・違いについて学びます。	渡邊 生恵	PC プロジェクター

6	<u>安全①</u> 医療事故はなぜ起こるのか？対象者の安全を守るためにヒューマンエラーと安全管理について学びます。	渡邊 生恵	PC プロジェクター
7	<u>安全②</u> 様々な感染症からどのように対象者と自分自身を守るのか？感染予防のためのスタンダード・プリコーションについて学びます。	渡邊 生恵	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	渡邊 生恵	
8	<u>試験解説・まとめ</u>	渡邊 生恵	PC プロジェクター